

医師から看護師へのタスク・シフト／シェア

～プロトコールに基づく検査の実施～

塚田 晃裕¹⁾ 見田野 直子¹⁾ 常味 良一²⁾ 高橋 陽子¹⁾ 木幡 一磨³⁾ 富保 和宏³⁾

江熊 広海³⁾ 赤路 和則³⁾ 美原 盤⁴⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 看護部

2) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 医療安全管理室

3) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 診療部

4) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 院長

[背景]2024年4月から「医師の働き方改革」が適用され、医師の労働時間短縮が求められるようになった。これに対し医師から看護師へのタスク・シフト／シェアが推進されている。

[取り組み]医師から看護師へのタスク・シフト／シェアがなされた場合、その医療が安全かつタイムリーに提供できる体制整備が望まれる。当院では、タスク・シフト／シェアできる業務範囲について医師、認定看護師、特定看護師、学会認定看護師で検討した。その結果、5つのプロトコールを作成し、外来では「頭部外傷時の頭部CTに関するプロトコール」、病棟では「胃管挿入時の位置確認に対するレントゲン検査に関するプロトコール」の運用を開始した。プロトコールに基づき検査を実施することで、外来、病棟とも医師の指示回数が削減された。

[結語]プロトコールにより看護師が検査の指示を行うことは、医師の働き方改革への対応策として有用である。